

【DRC-DA】 IoT Platform 設定手順

2017年10月
富士通株式会社

お客様に設定して頂く内容について

- インデックスノード、sink-agentの配備にあたり、IoT Platformに事前設定が必要になります。
- 本資料では、IoTテストベッドに必要なIoT Platformの設定方法について説明します。
- 新たにインデックスノード及びsink-agentを追加する場合、
予め以下のリソースを作成し、
開通通知書記載の「IOTPF_TOKEN」と同名のアクセスコードに紐付けしてください。

データ形式	リソースパス	備考
JSON	testbeddir/keyvalues/XXX	属性情報（※）（XXXは任意の属性情報）
バイナリ(_bin)	_bin/testbeddir/idx-0XX	インデックス情報（XX:数値）

※ /keyvalues/XXXのXXXには
検索する属性名が入る。

【例】車両情報を検索する場合

- testbeddir/keyvalues/door
- testbeddir/keyvalues/kmh
- testbeddir/keyvalues/temp
- testbeddir/keyvalues/shock
- testbeddir/keyvalues/latitude
- testbeddir/keyvalues/longitude
- testbeddir/keyvalues/location

etc...

設定画面(リソースパス、アクセスコード)

■ リソース作成方法：サービスポータルの“リソース”から“追加”を選択

リソース追加

必要な情報を入力し、「追加」ボタンを押してください。(*は入力必須)
リソース名に使用可能な半角記号は@、_、-、. です。

リソース種別* リソース

リソースパス*

リソース名

データ形式* JSON

コメント

保存期間(1~9999日)* 1

キャンセル 追加

- リソースパス
- データ形式(JSON/バイナリ(_bin))
- 保存期間 を設定します。(設定内容は前ページ参照)
※保存期間は任意

■ アクセスコード設定方法：サービスポータルの“アクセスコード”から“検索”を選択(※通常、新規追加の必要はありません。)

リソース アクセスコード

アクセスコード一覧

必要な情報を入力し、検索結果を表示する場合は「検索」ボタンを押してください。
アクセスコード名に使用可能な半角記号は@、_、-、. です。

アクセスコード (前方一致)

アクセスコード名 (前方一致)

リソースパス (前方一致)

リソース名 (前方一致)

検索結果1件 (選択10件)

アクセスコード	アクセスコード名	リソースパス	リソース名
			...

削除

開通通知書記載のIOTPF_TOKENと同名の
アクセスコードを選択

アクセスコード更新

検索結果2件 (選択10件)

検索結果	選択
/testbeddir/dir	<input type="checkbox"/>
/testbeddir/idr-001	<input type="checkbox"/>
/testbeddir/idr-002	<input type="checkbox"/>
/testbeddir/idr-003	<input type="checkbox"/>
/testbeddir/idr-004	<input type="checkbox"/>

▼追加 ▲削除

使用リソース*

	U	R
testbeddir/raw_entries	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
testbeddir/keyvalues/winker	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
testbeddir/keyvalues/url	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
testbeddir/keyvalues/temp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
testbeddir/keyvalues/shock	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
testbeddir/keyvalues/longitude	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

キャンセル 更新

- ① 登録したリソースを選択し、
- ② 使用リソースに追加、
- ③ U・Rを選択します。

MQTTパスワード確認

- ダッシュボードから“共通設定”を選択することで現在設定されているMQTTパスワードを確認することができます。
- インデックスノード及びsink-agentを構築する際、config.propertiesの設定に必要なため控えておいてください。
- また、MQTTパスワードは変更可能ですが、**MQTTパスワードは変更しないでください。**もしお客様が変更を希望される場合富士通が運用するディレクトリノードの設定も変更する必要があります。その場合は必ず、テストベッドMLまでご連絡ください。

IoT Platform

リソース | アクセスコード | イベント | ログ | ユーザー | アクセス制限 | 分散設定 | **共通設定**

MQTT

必要な情報を入力し、「変更」ボタンを押してください。(*は入力必須)

・パスワードは半角8文字以上12文字以内です。
・数字、英小文字、英大文字、記号は必須項目です。記号は(#@-():_.~)が利用可能です。

User Name	User Name
Password	Password
新 Password*	

- 設定手順の詳細は別紙(setting_procedure.pdf)を参照下さい

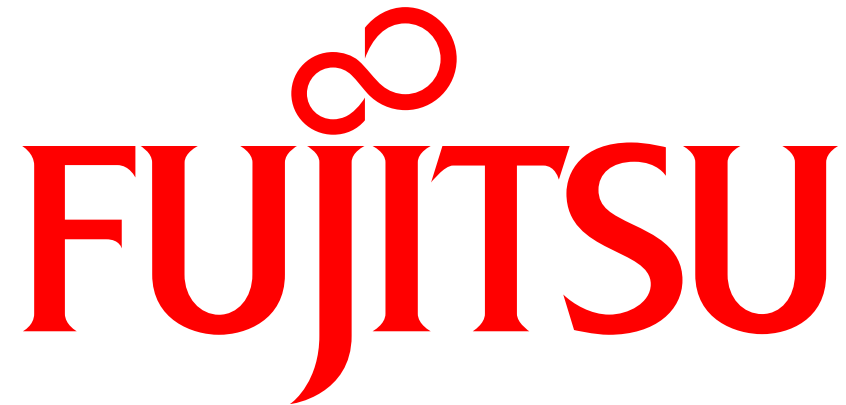
```
[root@eval2 modules]# cat config.properties
LOG_LEVEL=DEBUG
OWN_ID= リソース登録した_bin/testbeddir/idx-XXX の"idx-XXX"を設定
OWN_DOMAIN=n/a
AS_DIRECTORY=false
AS_INDEX=true
IOTPF_HTTP_HOST=api.sys3.iot.jp.fujitsu.com
IOTPF_MQTT_HOST=sys3.iot.jp.fujitsu.com
IOTPF_MQTT_PORT=1883
IOTPF_USER= テナントIDを設定
IOTPF_PASSWORD= MQTTパスワード
IOTPF_RESOURCE_ROOT= 開通通知書記載 (デフォルト: v1/{テナントID}/testbeddir)
IOTPF_BIN_RESOURCE_ROOT= 開通通知書記載 (デフォルト: v1/{テナントID}/_bin/testbeddir)
IOTPF_TOKEN= 開通通知書記載
RABBITMQ_HOST=rabbit
RABBITMQ_PORT=5672
MONGODB_HOST=mongo
MONGODB_PORT=27017
MEMCACHED_HOST=sublist
MEMCACHED_PORT=11211
SD_MODE=default
DATA_CLEAR_PERIOD=172800000
SUBSCRIPTION_TTL=172800
DIR_NODE_ID= 開通通知書に記載 (デフォルト: dir)
```

【参考】予め設定されているリソースについて

【事前設定項目】

- 開通通知書が送付された地点において、以下のリソースが予め設定されています。
- またこれらのリソースは開通通知書記載の「IOTPF_TOKEN」と同名のアクセスコードに紐付けされています。
- これらの情報はDRC-DAを使うために必要な情報です。アクセスコードから紐付けを解除したり、リソースを削除しないようにご留意下さい。

データ形式	リソースパス
JSON	testbeddir/gws
	testbeddir/raw_entries
	testbeddir/keyvalues/test
	testbeddir/keyvalues
	testbeddir/subscriptions
バイナリ(_bin)	_bin/testbeddir/dir
	_bin/testbeddir/idx-999



shaping tomorrow with you